

令和元年度 森林環境譲与税の使途

事業区分	事業名	事業総額（千円）			事業内容	税導入の効果
		(A) + (B)	(A)うち令和元年度の森林環境譲与税（千円）	(B)うち他の財源（千円）		
意向調査の準備作業	森林経営意識調査	208	208	0	森林経営管理法の施行に伴い、事前調査として森林所有者に対し、森林の所有状況や所有森林の施業及び経営など、森林の経営に関する意識調査を行った。	<p>本市においては、市南部地区に多くの森林面積を占めており、地元の森林組合を中心とした担い手として林業の振興を行ってきたことから、森林環境税の活用においては、同地区を重点的な対象区域とし、各地区で活動している森林組合に対する支援を行うこととしている。また、本市は都市部も多く有していることから森林資源の有効な活用を図るため、都市部での地元産木材の利用促進及び普及啓発を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林所有者に対して森林経営に関する意識調査を行い、森林経営管理制度に基づく意向調査の基礎資料を得ることができた。 ・林道の修繕を行う事により、森林経営計画に基づいて約5haの搬出間伐を行うことができた。 ・GPS機器の導入及び市担当者の研修会への参加により、森林現況調査の精度向上を行うことができ、森林経営管理制度に取り組むに当たっての体制強化を行うことができた。 ・木材普及啓発に関するイベントを開催している団体へ支援を行い、ウッドフェスティバルを開催した。 ・新規事業として、県産木材製の玩具等の備品を子育て拠点施設へ配布し、木材利用の普及啓発を行うことで、都市部での税を活用した事業の実施を行った。 ・公共施設の木質化を目指し、市林務担当職員のみならず、市建築部門の職員を研修に派遣することで、木質化を推進した。 ・執行残額は森林整備の推進等に活用するため、基金に積み立てた。
意向調査の準備作業	機器導入	680	680	0	森林経営管理制度の導入、運営に向けた森林の状況を把握するため、GPS機器の導入等を行い、業務の効率化を図った。	
林道・林専道の整備等	林道・作業道修繕	2,099	2,099	0	既設の林道及び森林作業道の維持管理工事等を行った。	
専門員の雇用	非常勤嘱託職員雇用	2,960	2,954	6	森林経営管理法の施行に伴う業務について、林業専従の非常勤嘱託職員を雇用し、新制度の施行に対応した。	
人材育成等	職員研修	148	148	0	新たな森林管理システムの施行につき、市担当部署の体制整備を行うため、専門的な知識を持つ職員を育成するために職員の研修を行った。	
木材・普及啓発関係	木材普及啓発	100	100	0	市内で木材普及活動を行っている団体に補助を行い、木材普及のPRイベント等を開催し、都市部の住民に対して木材利用促進に関する普及活動を行った。	
木材・普及啓発関係	木材普及啓発	308	308	0	県産木材を使用した備品等を市有施設へ配布し、木材利用の普及啓発を行った。	
基金積立（森林整備等）	森林整備基金積立	15,980	15,980	0	基金を設置し、執行残額を基金へ充当した。	
合計		22,483	22,477	6		